

りヒシが繁茂することは無く、ジュンサイの優占の生育が可能であろう。ただ、将来的にジュンサイが最深部に進出し、逆様池全水域において優占的に生育したとしても、最深部に生育している種が少ないため、駆逐される水生植物はあまり無いものと思われる。また、逆様池南岸湿地の一部に、オオミズゴケ群落があるが、この群落周辺にはヒメタヌキモがオオミズゴケに絡る様に生育しており、踏圧の被害を避ける意味で立ち入りをひかえるべきである。なお、逆様池は国営公園として今後一般市民に利用される区域内にあるが、尾瀬沼や裏磐梯で繁茂したコカナダモ(星、1982、1989)の様な外来水草の持ち込みをどの様に防ぐかも課題の一つである。

文 献

- 浜島繁隆. 1979. 池沼植物の生態と観察. ニュー・サイエンス社, 東京.
- 星 一彰. 1982. 尾瀬沼にコカナダモ侵入. 水草研究会報 7:1.
- . 1989. 福島県裏磐梯のコカナダモ分布拡大. 水草研究会報 35:10-11.
- 久米 修. 1991. 香川県におけるタヌキモ類について. 水草研究会報 43:18-23.
- . 納田美也・和気俊郎・大石泰輔. 1987. 新川水系のため池における水生植物相. 香川県自然環境保全指標策定調査研究報告書(新川水系のため池):16-42, 香川県.
- 宮脇 昭. 1981. 日本植生誌 九州. 至文堂, 東京.
- . 1983. 日本植生誌 中国. 至文堂, 東京.
- . 1984. 日本植生誌 近畿. 至文堂, 東京.
- . 1985. 日本植生誌 中部. 至文堂, 東京.
- 末広喜代一・和気俊郎・新居正敏・納田美也. 1985. 讃岐丘陵公園予定地の植物相と植生. 国営讃岐丘陵公園(仮称)の動植物現況調査報告書, 香川動植物の会:53-86.
- 我が国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会 種分科会(編). 1989. 我が国における保護上重要な植物種の現状. (財)日本自然保護協会.
- 吉井正雄. 1989. 龍頭今昔. 満濃池資料集, 建設省四国地方建設局国営讃岐まんのう公園工事事務所:36-46.

○倉敷の自然をまもる会編 『自然への想い—昔を探り、今を見つめて』

(山陽新聞社、1993年6月、274p、1,500円)

岡山県の自然を地形・地質から動植物まで多角的に取り上げ、興味深く、親しみやすく紹介したもので、序章に続き、「悠久の大地が語るロマン」、「山と森に生きる」、「川の流れと清らかな水」、「瀬戸内の昔そして今」、「自然からのシグナル」という5部構成からなる。そのタイトルから、内容だけでなく、本書がどのような気持ちで企画されたのかももうかがえるのではなからうか。

「川の流れ…」の中で水草が登場し、「よみがえれミズアオイ」、「百間川の今昔と植物」、「児島湖には水草がよく似合う」の3編が寄稿されている。20ページ足らずだが、生態、水草の変遷、環境保全と内容が詰まっている。失われて行く故郷の自然とその保護への取り組みが本書のモチーフで、全国いずれの地方の方が読まれても共感できると思う。(角野 康郎)

○上山智子『幻の花々とともに—老町田湿地の四季』

(風媒社、1993年6月、459p、3,600円)

ヒメミミカキグサ、ナガバノイシモチソウ、シラタマホシクサなどが生育する愛知県武豊町老町田湿地は東海地方に数ある湿地のひとつに過ぎないが、町を挙げての保護の取り組みで他に類例をみない場所である。その湿地の四季の移り変わりや保護に取り組む人たちの活動を、植物については素人という一ピアノ教師が1年間取材してまとめあげたのが本書である。個々の植物の観察記録も興味深い、昨年亡くなられた本会会員和田基巳氏の献身的な活動や、それを支える多くの人が描かれており、この湿地がどのようにして守られてきたのかよくわかる。

忙しい毎日の中でも、ゆったりとした気持ちで読みたい本である。(角野 康郎)